

仕様書

新エネルギー部

1. 件名

浮体式洋上風力発電低コスト化技術開発調査研究

2. 目的

我が国の厳しい気象・海象条件の中で、洋上風力発電の導入拡大を実現するには、浮体式洋上風力発電の導入が必須であり、そのためには一層の発電コストの低減が求められています。

本事業では、以下のとおり、我が国の厳しい気象・海象条件に適した、浮体式洋上風力発電の低コスト化技術開発の課題の抽出、および実現可能性等を調査、検討することで、最終的にコスト低減率を評価します。

3. 内容

本事業では、浮体式洋上風力発電コストを構成する、資本費(CAPEX)、運営費(OPEX)を対象として、上記の目的に沿った、低コスト化技術の調査研究を実施し、実現可能性やコスト低減の調査・評価を行います。具体的には、浮体構造、係留技術、送電ケーブルを含む送電技術、洋上施工技術や撤去工法等について、関係する企業(風力発電事業者、EPC等)が共同で検討を行います。

4. 調査期間

NEDOが指定する日(2020年度)から2022年3月20日までの2年間

5. 事業形態

調査委託(NEDO負担率:100%)

6. 予算額

総額:7億円以内、うち2020年度は3億円以内(採択予定件数:予算の範囲内で複数件)

7. 報告書

提出期限及び提出部数:

2020年度終了時には、中間年報の電子ファイル(PDFファイル形式)を、
2021年度終了後には成果報告書の電子ファイル(PDFファイル形式)を
CD-R等の不揮発性媒体に記録し、1枚を所定の期日までに提出。

提出方法:「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと。

http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual_tebiki_index.html

※報告書の仕様については、別途指示することがある。

8. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上